

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 オストメイト社会適応訓練事業費補助金(国補)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2608)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 100千円 (前年度予算額：100千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	100	50	0	0	0	0	0	0	50
要求額	100	50	0	0	0	0	0	0	50
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

日常生活における各種講演や相談を通じて、オストメイトが装具の正しい使用方法を習得する必要がある。

(2) 事業内容

オストメイト(人工肛門、人工膀胱造設者)を対象とした「オストメイト社会適応訓練事業」の開催に対して補助する

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2 国庫補助 [地域生活支援事業]

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100	研修開催経費を助成
合計	100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

オストメイトの社会参加を目的とした事業は今後も必要

(2) 事業主体及びその妥当性

オストメイトの社会参加を目的とした事業は広域的に行う必要があるため、日本オストミー協会岐阜県支部に対して補助を行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 生活の上での注意事項やケア方法についての研修会に補助することで、健常者と同じような社会生活が送れるよう支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H21)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① ストーマ研修会参加者数	-	52名	60名	70名	80名	65%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 ストーマケア研修会の開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	本事業は、国庫補助事業である地域生活支援事業の都道府県事業に位置付けられており、オストメイトの社会復帰促進が図られており、利用者からのニーズも高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	平成22年度より事業を開始して以来、毎年一定以上の出席があり、成果が上がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	医師や専門看護師などを講師として講演会を実施することで、オストメイトやその家族にとって、有効な研修会となっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 オストメイトにとって、大腸または、膀胱、尿道を手術し、身体の機能を変化せざるを得なかったことは、精神的な負荷が非常に大きいため、専門家による講演会などの開催により、負担の軽減が必要とされる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ストーマ（人工肛門、人工膀胱）を保有する方が、安心、快適な生活を送り、健常者と同じように社会で活躍できるよう、生活の上での注意事項やケア方法について勉強できるよう、事業を継続する必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------